

♪ 2019年度 *poco a poco* ♪

Nr. 21 2020年1月23日(木) 文責:プファイル・辰巳

2月3日は全校音楽鑑賞会

先日、担任の先生から音楽鑑賞会のお知らせと集金袋を配布してもらいました。子どもたちは授業の一環として全員鑑賞します。保護者の皆様のお席も用意できますので、希望される方はお早めに、申し込みをしてください。

昨年度はジャズクアルテットでしたが、今年はクラシックの弦楽トリオの演奏です。ヴァイオリン、ヴィオラに加えてコントラバスの音色を生で聴いていただきます。お楽しみに!



音楽こぼれ話 <音楽鑑賞会に向けて~「魔笛」のお話>

今年の全校音楽鑑賞会の演目は、弦楽トリオと語りによるモーツァルトのオペラ「魔笛」です。みなさんは、どこかのオペラ劇場で「魔笛」をご覧になったことがありますか。私がドイツに来て生まれて初めて見たオペラがミュンヘン歌劇場の「魔笛」でした。留学生時代のことでしたから、手に入れたのは立ち見席。最後は手すりにもたれかかるようにして、天井桟敷から食い入るようにして見ていた記憶があります。



「魔笛」は、モーツァルトが1791年に作曲した作品で、作品番号はK.620。オペラ作品としては、彼の最後の作品になりました。「フィガロの結婚」「ドンジョヴァンニ」と共に、現在でも人気の高く、上演回数も多い作品です。

第1幕は、王子タミーノが大蛇に襲われる場面からはじまります。ピンチを救うのは夜の女王に使える3人の侍女。彼

女たちの報告を受けて、闇の国を支配する「夜の女王」は、捕らわれの身となっている娘パミーナ姫を救出してくれるようタミーノに依頼します。パミーナの肖像画に一目ぼれしたタミーノは、これを引き受けます。タミーノのお伴をおおせつかったのは、鳥刺し(鳥を捕まえる事)を職業としているパパゲーノです。タミーノは「魔法の笛」を、パパゲーノは「魔法の鈴」を手し、道案内の3人の少年と共に出かけます。

ところが、パミーナが捕らわれの身となっているザラストロの神殿に到着したタミーノとパパゲーノは、本当の悪人は夜の女王であり、ザラストロは悪の支配からパミーナを救うために、この神殿に留め置いているということを告げられます。真実の前に戸惑いながらも、お互いに惹かれ合うタミーノとパミーナです。

第2幕はタミーノが試練に立ち向かう場面です。この試練を乗り越えて初めて、パミーナ姫と結ばれることができるのです。試練を受けるなんてまっぴらだと思っていたパパゲーノも、この試練を乗り越えたなら、自分にもお似合いの恋人が与えられると聞き、その気になります。

第1の試練は「沈黙(おしゃべり禁止)」の試練。3人の侍女たちがやってきて、この二人を誘惑しておしゃべりをさせようとしたり、パミーナ姫が口をきいてくれないタミーノに落胆したり、試練に落第しかけたパパゲーノが無事未来の恋人パパゲーナに出会えたり・・・と、様々な事件が起こります。また、娘パミーナの裏切りを知った夜の女王が、復讐のアリアを歌うのもこの場面です。

沈黙の試練を無事乗り越えたタミーノは、パミーナと合流の試練に立ち向かい、二人はみごとにこの試練を乗り越えて絶望し、自殺を図りかけたパパゲーノも無事、パパゲーナ

闇は光に打ち勝つことなく、夜の女王と侍女たち、そしてモノスタス一味も失脚し、ザラストロが太陽を讃え、タミーノとパミーナを祝福して幕は閉じられます。



ほんのちよっとだけ 演奏会情報

2月のフランクフルト・オペラ劇場の演目より

ビゼー作曲 オペラ「カルメン」

2月5日(水)、7日(金)、15日(土)、22日(土)、28日(金)

上演時間 約3時間(パウセ込み)